

備前市事務事業評価シート

事業の概要					
事業開始年度	昭和23年		根拠法令・例規等	予防接種法	
総合計画	大項目	04 土台となる政策「安全・安心」	関係	担当課(室)	保健課
	中項目	06 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち		職・氏名	健康係長・江見清人
	小項目	23 生涯を通じた健康づくりの推進		先電話	64-1820
事務事業名	03 予防接種事業		このシート作成に要した時間	時間	

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	予防接種の対象者(予防接種の種類により対象年齢が異なる)	
目的(何のために)	感染の恐れがある疾患の発生及び蔓延を予防する	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	各種予防接種の受診率が向上することで、疾患の発生及び蔓延を予防し市民の健康が増進する。	

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	予防接種事業	各予防接種対象者に対し、予防接種手帳を交付し、予診票の配布や広報、個別通知等で接種勧奨を行う。接種については、協力医療機関に委託し個別接種にて実施している。予防接種台帳の整備・管理及び協力医療機関・医師会への委託料の支払い事務を行っている。	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	94,320	77,541	57,482
	必要人員	人	0.84人	0.89人	0.51人
	事業費計	千円	97,291	81,388	60,038
	国県支出金	千円	19,858	12,597	
	受益者負担	千円			
財源	千円				
市債	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	77,433	68,791	60,038	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標名	説明		定期予防接種(四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、麻しん、風しん、MR、日本脳炎、BCG)		
結果指標量			4,591	3,563	2,764
対前年比	%		-	77.6%	77.6%
活動コスト		円	97,291,000	81,388,000	60,038,000
単位当たりコスト		円	21,192	22,843	21,721

事業の成果						
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
乳幼児の予防接種率(%)	目標値(A)	90	90	90	90	
	実績値(B)	83.3	83.1	59.7	到達目標値	
	達成率(B/A)	92.56%	92.33%	66.33%		90
成果指標設定の考え方・式や説明						
接種人数÷対象者数×100 接種可能年齢が90か月未満である予防接種における接種率の推移を比較。対象は小学3年生相当の年齢の者としている。 H23年度：2,189人/2,628人 H24年度：2,072人/2,493人 H25年度：1,345人/2,250人						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低い
市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B	

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
説明	予防接種法に基づき対象者に定期予防接種を実施しているが、新たにH25年4月からヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんワクチンが定期予防接種に位置づけられ、またBCG、日本脳炎予防接種の対象者が変更になった。対象者へ個別通知や広報びげん、ホームページ等で接種を勧め、関係機関との協力を得ながら円滑に実施できるように体制を整え接種率向上を目指す。						

総合評価		
予防接種法に基づいた事業で市町村での実施が義務づけられており、感染症予防、公衆衛生の向上及び増進のために実施する必要がある。予防接種法が改正される中、混乱のないよう接種対象者や医療機関への情報提供を確実にし、円滑に実施できるよう努めている。接種機会を逃すことのないよう、周知や接種勧奨を頻回に行い接種率を向上させ、予防効果を高める必要がある。	総合評価	B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
取組目標	近年、予防接種法の改正が目まぐるしく行われるため、対象者が接種の機会を逃したり、混乱を招いたりしないよう、県や医師会等の関係機関の協力を得ながら接種勧奨を行っていく。また委託料や自己負担額を適宜見直していく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな